

子宮頸がんとHPVワクチン

無料

日本では、年間約10,000人が子宮頸がんを発症し、約3,000人の女性が亡くなっています。
子宮頸がんは若いうちに、HPVワクチンを接種することで予防することができるんです。
専門医師がわかりやすくお話しします。疑問や不安を解消し、子宮頸がんを予防しましょう！

日 時

4月15日(土) 13時～14時 (12時45分受付開始)

場 所

くぼのやウィメンズホスピタル 地下イベントホール

対 象

どなたでもご参加いただけます。母娘でもご参加ください。

参 加 費

無料

定 員

40名 (定員になり次第締切)

持 ち 物

スマートフォン(お持ちの方)

セミナー中、スマートフォンを使い、クイズやアンケートを行います。

申 込 方 法

WEB予約をご利用ください。

「教室」>「KUBONoya Seminar」>「子宮頸がんセミナー」を選択してください。

診察券をお持ちでない方は、WEB予約よりご利用登録の上、申し込みをお願いします。

講 師

豊島 将文 先生

東北大学医学部 卒業

日本医科大学付属病院 産婦人科 准教授

柏中学校を卒業。柏市内の中学校で、子どもたちに性教育、

子宮頸がんやHPVワクチンの講座をボランティアで実施されています



参加者全員に
オリジナルクリアファイル
プレゼント！



▶ 子宮頸がんってなに？

- 原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)というごくありふれたウイルスによるものです。
- 6割以上の女性が、HPVに感染しています。
→95%以上が自然治癒しますが、誰でも発症する可能性があります。
- 初期には、まったく症状がありません。
- 近年、20歳～30歳代女性での罹患率・死亡率ともに増えています。
→出産年齢のピークは30歳代前半。そこに、子宮頸がんの「発症年齢」ピークが重なってきています。

気になること、
ご不安に思っていること、
何でもおききください！

娘に接種したいけど
副反応が怖い…



HPVワクチンってなに？
受けなくちゃいけないの？



くぼのやウィメンズホスピタル

TEL:04-7164-2230

HP

WEB
予約

- 当日当院の「新型コロナウイルス感染症セルフチェックシート」をご記入いただきます。
事前にHPの「お知らせ」で内容をご確認ください。
- 土曜日は駐車場が大変混雑します。極力公共交通機関をご利用ください。
- 未就学児のご参加はできません。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

